

### 1. アプリケーションの概要

「スタート5秒前, 3, 2, 1, スタート」から指定された対戦時間(初期値は3分)終了まで, 時計を表示します。スタート時, 終了時に440Hzと880Hzの音も出ます。

### 2. インストール・アンインストール

適当なフォルダに置くだけです。アンインストールはファイルを消すだけです。

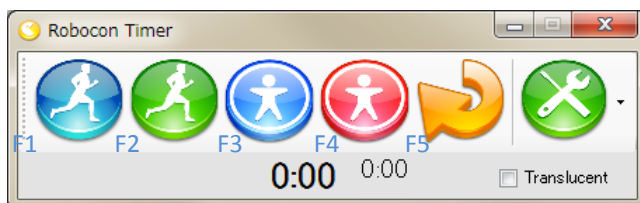
### 3. 動作環境

Windows 7, Vista, XP

.NET Framework 4 が必要です。

### 4. 起動

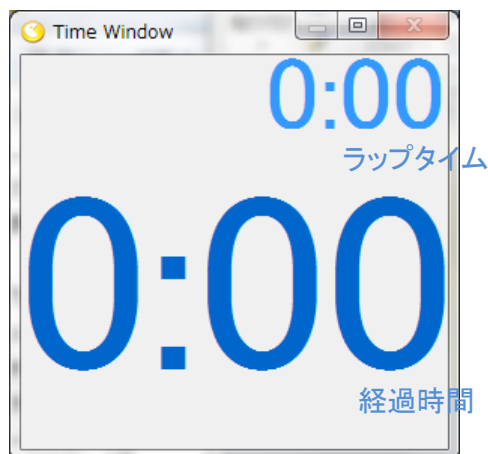
起動すると2つの画面が現れます。



コントローラはサイズが, 変わらないけれど, 時計画面はサイズを変更して, できるだけ大きく表示するようにします。

ディスプレイを2つ(操作用・表示用)使っている場合は, 時計画面を表示用ディスプレイに移動して最大化します。

時計画面ダブルクリックでフルスクリーンになります。ESCキー, またはダブルクリックで元に戻ります。時計画面右クリックでメニューも出ます。



画面の色は, PCの設定により変化しますので, ここに示した色のままとは限りません。

### 5. 終了

コントローラ右上隅の×印をクリックすると終了します。試合時間の設定値が.iniファイルに保存されるので, 次回起動時に読み込まれます。

RoboconTimerLog.txtに実行ログが保存されます。



## 6. 作業とボタンの働き

各ボタンの働きは、マウスポインタをボタン上に合わせると表示されます。



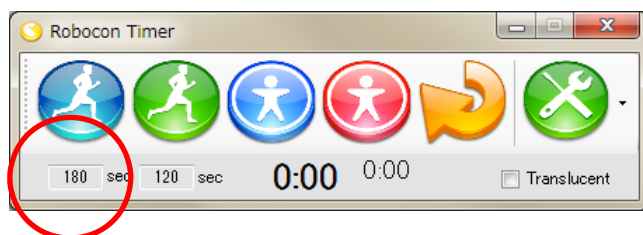
### (1) 3分間の競技を行なう(一番簡単な使い方)

このボタンを押すと180秒=3分の試合の時計になります。  
5秒前からスタートします。F1キーでも同じ動作になります。3分経過すると自動的に止まります。



### (2) 試合時間を4分にしたい

このボタンを押すと、下図に示すように、試合時間設定が出来るようになります。4分にしたいのなら、180を240(秒)に書き換えます。もう一度、このボタンを押せば、書き換えができなくなります。



### (3) ラップタイムを表示したい

試合の途中で片方のチームがゴールしてラップタイムを表示したいことがあります。このボタンを押せば、ラップタイムが時計画面の右上に表示されます。F3キーでも同じ動作になります。



### (4) 途中で時計を止めたい

試合の途中で、すでに対戦が終了したときなどには時計を止めたくります。このボタンを押せば、停止します。F4キーでも同じ動作になります。



### (5) 延長戦に入りたい

このボタンで120秒=2分の延長戦ができます。F2キーでも同じ動作になります。延長戦の時間を変更する場合は、(2)と同様にします。(延長戦だけでなく、第2の試合時間で動作させたい時に使います。「(3)ラップタイム」や「(4)途中停止」の動作も同じように使えます。)



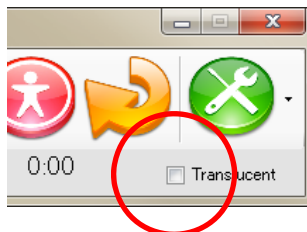
### (6) 時計を0に戻したい

このボタンで、時計を0に戻します。F5キーでも同じ動作になります。

## 7. その他

### 1) Translucentボタン

Translucentへのチェックはコントローラを半透明にします。



### 2) 1つのディスプレイだけで動作させる場合

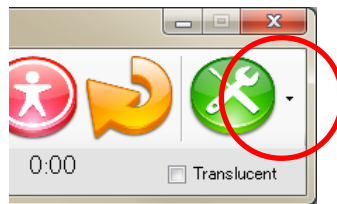
1つのディスプレイだけで動作させる場合は、コントローラがじゃまになるので、コントローラで競技時間を設定した後、時計画面を最大化し、F1～F5キーを使って、操作すればよいでしょう。

### 3) 有効な設定時間

想定される競技時間は10分未満ですが、それ以上でも正しく動作します。ただし10分の位より上は表示されません。例えば競技時間12分でしたら、終了時刻は2:00のように表示されます。

### 4) 右端の小さい▼印

ここをマウスのボタンで押すと、「About」(バージョン情報)、「Exit」(アプリケーションの終了)を選ぶことができます。



### 5) 時計画面の裏側にコントロールが隠れて困ったとき

通常のWindowsのウインドウ操作で表示できるようになるはずですが、「Home」または「F6」キー押し下げでコントロールを表示できるようになります。

なお、時計画面がフルスクリーンモードの場合は「esc」キーまたは、時計画面へのダブルクリックで時計画面を元に戻せます。時計画面右クリックでメニューも出ます。時計画面での右クリックでメニューも出ます。

## 8. フリーソフト(取扱い種別)

このソフトは商用でない限り、だれでも自由に使うことができます。ただし、著作権はKosakaが保有します。また、このソフトの使用によるいかなる損害についても、Kosakaはかかわりませんので、使用者の責任でご使用願います。

## 9. 作者連絡先

小坂敏文kosaka@tokyo-ct.ac.jp